

『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

2025/10/24

SAH×進路自分たちで選び動く大学見学(1年)

～生徒の生の声をお届け！チェックポイント大学別・キャンパス体験記～

高校生活における進路決定の第一歩として、10月16日に東京の主要大学を巡る大学見学を実施しました。今回は、各クラスで班を編成し、生徒が自ら計画を立てて実行する形式で訪問を行いました。生徒たちはこの機会を通じて、パンフレットだけでは分からない各大学の歴史、雰囲気、そしてそこで学ぶ学生の息遣いを肌で感じることができました。今号は、大学を巡った生徒たちの現地で得た率直な感想をご紹介します。次回は大学見学×非認知能力をテーマにお届けします。

1. 東京大学

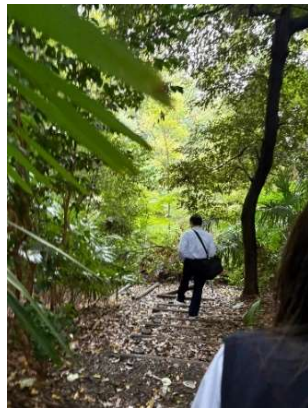
□広大な敷地と歴史的な建造物に驚きました。図書館の静かな雰囲気や講義をみて、伝統と学問の重みを感じました。三四郎池をまわり、自然豊かな空気を肌で感じることができました。(1組)

□レンガを使った建物が多く、とても趣深かったです。至る所に人の像があったのでそれを見つけて何をした人なのか読むのが面白かったです。学生は団体やグループは少なく、1人で歩いている学生が多かったです。(5組)

□東京大学は、とにかく建造物が多く、大学内は想像の何倍も広くて衝撃を受けました。施設内に入ることはできませんでしたが、自然の豊かさや歴史的建造物を多く残しているところに、まだ知らない新しい大学の形を見ることが出来ました。(5組)



2. 学習院大学



□緑が豊かでサークルを行っていた大学生がたくさんいた。藤生先生が1つ1つ丁寧に説明してくれたので施設もしっかり見ることが出来たし、小話も聞けたのでたくさん理解できました。(1組)

□緑が多く、大学内が広くとても心地よい環境でした。法廷を模範にしている講義会場があり、その中でこういった授業をしているのか気になりました。(1組)

□学習院創立百周年記念会館や、霞会館記念学習院ミュージアム、乃木館など学習院大学の歴史についてたくさん学ぶことができました。とても静かでいい雰囲気で、緑が多い大学だったと思います。(2組)

3. 上智大学

□建物が大きく、道もレンガで舗装されていたので、ひとつの町のように感じました。体感では外国人の方が約半数を占めており、グローバルな学校だと実感しました。(5組)

□通りかかった学生が自然に「写真撮りましょうか？」と声をかけてくれました。その温かい雰囲気と優しい気づかいが素晴らしく、大学の印象を良くしました。(3組)

□四谷の都心に位置する国際的なキャンパスに魅力を感じました。外国人留学生が多く、キャンパス内で様々な言語が飛び交う環境が印象的でした。(1組)



4. 青山学院大学

□建物が大きく、教会と隣接しているため華やかな雰囲気もありました。授業中の雰囲気は一人ひとりが真剣に取り組んでいる様子でした。18時すぎには学校全体がライトアップされるオシャレな雰囲気もあることがわかりました。(1組)

□すれ違った生徒は、みんな個性的で素敵だったので、多様性に特化しているようにも見え、比較的自由度が高く、人がより自分らしくあれる場所なのだと感じました。(4組)

□礼拝堂に入った時オルガンで何かを演奏していてキリスト教主義学校としての特徴を感じました。記念館では青学の歴史を詳しく知ることができました。(5組)



5. 明治大学

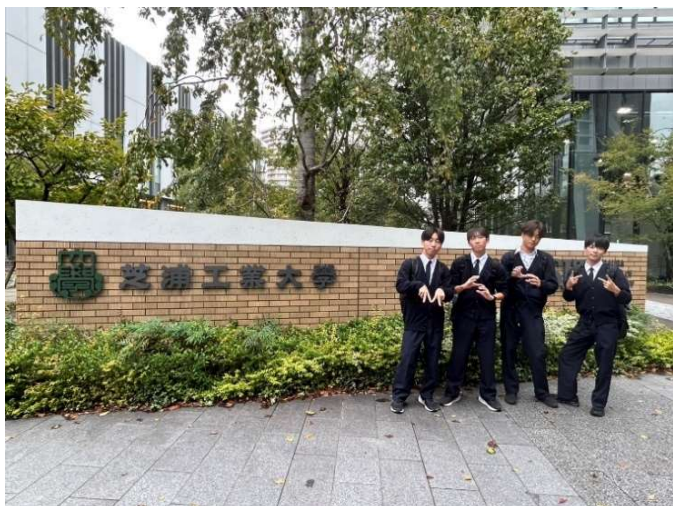
□明治大学を見学して、近代的でおしゃれな校舎に驚きました。学生の皆さんは活発で楽しそうに過ごしていて、明るい雰囲気でした。ここで学ぶかもしれない自分を想像してワクワクしました。(2組)

□明治博物館内では明治大学の歴史だけでなく、貝塚や打製石器、刀などの日本史で習ったものの現物が見られてとても楽しめました。(4組)

□駅からすぐ近くに大学があって、交通面が結構充実していると思いました。小さい休憩スペースみたいなところで大学生が寝たりリラックスしていたりして、居心地が良さそうでした。(5組)



6. 芝浦工業大学



□校舎が高層ビルのようにっており、最高で 14 階までありました。内部も綺麗で、個性的なオブジェや構造が配置され、近代的でハイテクな雰囲気を感じました。(2組)

□景色を眺めながら勉強できるスペースがあって、群馬県ではできないことが沢山できて、いいなと思いました。図書館も見学しましたが、数多くの本が並んでいて最高のスポットだと思いました。(5組)

□今まで経験してきた学校の設備と違って、学校や図書館に入るときはカードをかざしていた。また、エレベーターがたくさんあった。学校の敷地の中にバスケットボールなど運動ができる場所があってとても良い環境だった。(5組)

7. 立教大学

□印象に残ったのはチャペルで、ちょうど曲を演奏してくれる人がいたので、綺麗な音色を聴きながらステンドグラスや人物画などを見て回れました。煉瓦と蔦の組み合わせの建物が多く、西洋の歴史を感じられました。(2組)

□私が中学生のときに通っていた学校と同じ、キリスト教主義の学校であり、綺麗な校舎がとても魅力的でした。大学生も元気があり、このような人と大学生活を送ってみたいと感じることができました。(5組)

□外の赤レンガの壁の前で写真を撮っている人がいたり、花壇のスペースで談笑している人がいて、キャンパスがオシャレでいいと思った。池袋駅から少し歩いたところにあり、青空教室みたいなベンチとかも置いてあってよかった。(5組)



8. 早稲田大学



□大学の前では吹奏楽部や応援部のような大学生たちがいました。演奏や練習をしていてとても活気がありました。学生同士のあいさつが元気で、エネルギーに満ちた雰囲気を感じました。(1組)

□生協では、お菓子やアイスなどの糖分を吸収できるものが売っていた。ノートや筆記用具等の授業に必要なものや、たくさんのもも売っていました。わざわざ外に買いに行かなくていいのは、便利だなと思いました。(5組)

□大学は街との境界が曖昧でその地域に馴染んでいる様子でした。ある展示では、早稲田大学関係者がエジプトで研究をしていたことを知り、大学の学術的な活動範囲の広さを知りました。(5組)



★学年主任より★大学見学会は多くの高校で実施していると思いますが、自分で見学すべき大学を設定し、自宅から大学まで自分の力のみで訪問する形式の見学会を実施している高校は数少ないと思います。自分で足を運ぶことにより、交通機関の状況、周辺の街の様子、学生たちの素顔や活動の様子などをより感じることはできないでしょうか？生徒の皆さんがルールや時間を守り、安全に行動してくれるかどうか心配しましたが、事前・当日・事後とも各班で協力して学習を進める姿を目にし、頼もしさを感じています。「3年後にあの場所で大学生活を送っている自分」を想像して、今後の学習活動に励んでほしいと思います。(中野学年主任)

☆校長より☆ 皆さんは志望大学を決めるのに、何を決め手としますか？「学べる内容」、「取得できる資格」、「就職の状況」等、考えなければならないことはたくさんあります。その中の一つに「本気でその場所で学びたいと考えられるか」があると、私は考えます。キャンパスや研究室、学生の雰囲気、街の様子等に本気で憧れることができるかということですね。この雰囲気は自分の足で大学を訪れ、自分の体で感じなければ分からないことなのでしょう。次は、オープンキャンパス等を利用して、自分で計画を立て、自分の足で志望大学を訪れてみてください。皆さんには大学に本気で憧れ、本気でその受験に取り組めるようになってほしいと思います。(校長 原 拓史)